

愛 川 町 教 育 委 員 会

令 和 6 年 7 月 2 3 日

愛川町教育委員会 7 月定例会会議録

- 1 会議日程 令和 6 年 7 月 23 日（火）
午前 9 時から午前 11 時 21 分まで
- 2 会議場所 愛川町役場 4 階会議室
- 3 議事日程 日程第 1 会議録の承認について
日程第 2 教育長報告事項について
(1) 教育長報告
日程第 3 令和 7 年度使用教科図書採択について
日程第 4 令和 6 年度町一般会計補正予算（教育関連）について
- 4 出席委員 教 育 長 佐 藤 照 明
教育委員（教育長職務代理者） 大 貫 洋
教育委員 梅 澤 秋 久
教育委員 篠 崎 美 和
教育委員 齊 郷 浩 之
- 5 説明を要した者及び議事録作成のため出席した者
教育次長 亀 井 敏 男
教育総務課長 宮 地 大 公
指導室長兼教育開発センター所長 瀧 喜 典
生涯学習課長 小 山 文 利
スポーツ・文化振興課長 井 上 守
教育開発センター指導主事 岡 田 渉
指導室指導主事 森 啓 輔
指導室指導主事 會 場 道 子
教育総務課副主幹 前 田 幸 寛

◎開会

○（佐藤教育長）

それでは、本日の出席者は5人であります。定足数に達しておりますので、愛川町教育委員会7月の定例会は成立いたしました。

よって、これより開会いたします。

本日の議事日程はお手元に配付のとおりでありますから、ご承知願います。

これより日程に入ります。

◎日程第1

○（佐藤教育長） 初めに、日程第1、会議録の承認についてを議題といたします。

6月定例会の開催分でございます、会議録については事前に配付のとおりであります。

これより質疑に入ります。

ご意見、ご質疑がありましたらご発言願います。

（発言する者なし）

○（佐藤教育長） よろしいでしょうか。

（「はい」との声あり）

○（佐藤教育長） 質疑はありませんので、質疑を終結し、表決に入ります。

日程第1、会議録の承認についてであります。本案を原案のとおり承認することにご異議ございませんか。

（「異議なし」との声あり）

○（佐藤教育長） ご異議ないものと認めます。

よって、日程第1は原案のとおり承認されました。

なお、本定例会終了後に会議録署名原本をお回しいたしますので、委員の方は署名をお願いいたします。

◎日程第2

○（佐藤教育長） 次に、日程第2、教育長報告事項についてを議題といたします。

教育長報告について、資料1に基づき、私から報告をいたします。

6月25日から7月22日までの間に出席いたしました主な会議等につきまして、ご報告をいたします。

6月25日、教育委員会定例会、全員協議会。この日は終了後に第1回の学校訪問がございまして、菅原小、高峰小、半原小学校を訪問させていただきました。

6月26日、第1回の点検評価委員会がございまして、4人の方に委嘱状を交付させていただきました。午後は社会教育委員会議がございました。

27日、厚木愛甲地区の退職校長会の方が来室をされました。

7月2日、丹沢農場ということで、この工場は学校給食でウィンナー等を作っている会社でもあるのですが、中原中学校の横に新しい工場ができたということで、工場視察に行ってみりました。

県の教育局の部長さんが来庁されました。

社会教育委員議長さんが来室されております。

4日、全国町村教育長会の常任理事会がございまして、意見交換会、懇親会がございました。

5日は各省庁への要請活動ということで、文部科学省、衆議院会館等へ行ってまいりました。

8日、清川村の教育長さんが来室されました。

第2回愛甲採択地区協議会が1日かけて行われました。

10日、JICA、そしてユネスコアジア文化センターの関係の方が来室をされました。

11日、横浜国大の河内准教授さんのところにメタバースの共同研究を現在している関係がございまして、打合せに行ってみりました。その節は梅澤委員さんにもご協力いただきまして、ありがとうございました。

12日、教育懇談会が厚木市で行われましたので、行ってまいりました。

13日、六倉納涼盆踊り大会がございましたので、参加をいたしました。子供たちが非常に多く参加をしているのが印象的でした。

14日、三増八坂神社祭礼、獅子舞奉納がございましたので行ってまいりました。今年度は高峰小学校で芸術鑑賞会としてこの獅子舞を披露すると。興味を持った子供たちがこの獅子舞に参加をするような、そんな方向性で今後対応していくようになっております。

16日、行政経営会議。厚木税務署長さんが就任の挨拶に来られました。

17日、国際ソロプチミスト愛川の皆様が来室をされました。今年も本を寄贈していただけるということで、その感謝状をこのときに贈呈させていただいております。

SC相模原を訪問いたしました。

20日、三増区納涼盆踊り大会がございましたので行ってきました。こちらも中原中学校の子供たちが実行委員会形式で企画運営をしている関係上、非常に多くの子供たちが来ておりました。三増区以外の子供たちだと思いますけれども、非常ににぎやかでございました。

21日日曜日、愛川ウインドオーケストラ・サマーコンサートがございましたので、参加をいたしました。

報告は以上です。

これより質疑に入ります。

ご意見、ご質疑ありましたら発言をお願いします。

よろしいでしょうか。

(「はい」との声あり)

○(佐藤教育長) 特に質疑ありませんので、教育長報告についてはご了承願います。

◎日程第3

○(佐藤教育長) 次に、日程第3、議案第10号 令和7年度使用教科図書採択についてを議題といたします。

それでは、内容について、議案に基づき担当から説明を申し上げます。

指導室長。

○(瀧指導室長兼教育開発センター所長) 指導室長です。

日程第3、令和7年度使用教科図書採択についてであります。

令和7年度使用教科図書の採択に当たりましては、お手元の議案第10号の2ページにありますとおり、過日定例教育委員会で採択いただきました愛川町教育委員会としての採択方針に基づき、清川村教育委員会と共に愛甲採択地区協議会を設置するとともに、その規約に基づき12名の委員を選出し、採択権者としての権限と責任において、適正かつ公正な採択ができるよう努めてまいりました。

さらに、調査研究については教科ごとの調査員を厚木市33名、愛川町10名、清川村4名の合計47名で編成し、5月より厚木市と合同で進めてまいりました。また、8ページにあります日程のとおり、先日愛甲採択地区協議会を開催いたしましたので、本協議会で出されたご意見などを踏まえまして、愛川町の児童・生徒にとって最適の教科書が教育委員皆様の協議の中で採択されますよう、よろしくお願いいたします。

議案の審議に当たりましては、まず採択替えとなる中学校用各教科を、次に小学校用各教

科、学校教育法附則第9条の規定による教科用図書の順番で行います。

本日の資料の確認をします。愛甲採択地区協議会調査員作成の令和7年度使用中学校用教科用図書の採択に係る調査研究報告書、A3判のもの。2つ目に、神奈川県教育委員会作成の中学校、義務教育学校の後期課程教科用図書調査研究の結果。3つ目に、愛川町と清川村の各中学校からの意見を取りまとめた中学校からの意見などの資料をご参照の上、ご協議いただきたいと思います。

なお、議案第10号の10ページ、11ページ、こちらには令和2年度に採択された中学校教科用図書の採択理由を掲載しておりますので、ご参考にしてください。

また、教科書展示会を6月5日から27日まで開催し、そこで出された意見、教科書展示会一般代表者からの意見と、神奈川県内から提出された意見書・要望書などにつきましては、机上に配付させていただいておりますので、こちらもご参照ください。よろしくお願いします。

以上です。

○（佐藤教育長） それでは、議案審議に入ります。

議案の審議に当たりまして、先ほど事務局から説明がありましたとおり、採択替えとなる中学校用、次に小学校用、そして学校教育法附則第9条の規定による教科用図書の順で行います。

それでは、中学校用各教科につきまして、愛甲採択地区協議会の報告を受け、質疑と協議を経て採択を決定する方法で進めたいと考えておりますが、いかがでしょうか。

（「はい」との声あり）

○（佐藤教育長） それでは、そのように進めさせていただきます。

また、関連のある国語と書写、社会・地理的分野と地図、音楽一般と器楽合奏につきましてはそれぞれ併せて報告を受け、続けて審議をお願いしたいと考えますが、よろしいでしょうか。

（「はい」との声あり）

○（佐藤教育長） ご異議ございませんようですので、審議に入りたいと思います。

それでは、事務局から何か補足説明ございますか。

指導主事。

○（岡田指導室指導主事） 報告につきましては、担当指導主事から次の3点、現在使用している教科用図書の発行者名、続きまして令和6年度愛甲採択地区協議会の意見集約の結果、

最後に令和6年度愛甲採択地区協議会の協議等が出された主な意見の順にお話をさせていただきます。その後、初めに質問をお受けし、協議を経て採択していただきたいと思います。

さらに、採択地区協議会の意見集約の方向につきまして、若干ご説明申し上げます。

神奈川県教科用図書愛甲採択地区協議会規約により、「調査員の報告及び県教育委員会から提示された資料等を参酌し、協議会の会議において協議し、委員全員の一致によって決する。」とあり、「協議が調わない種目があるときは、委員は当該種目についてそれぞれ選定すべきと考える教科用図書に投票を行い、過半数の投票を得た教科用図書を選定する。」となっております。

7月8日に実施した第2回神奈川県教科用図書愛甲採択地区協議会においては、規約にのっとり意見集約を行いました。また、今回、社会科・歴史分野の学び舎の教科書につきましては、見本本が発行者より送られてきませんでしたので、調査の対象としていないことを報告します。なお、大日本図書につきましては、今回の改訂に伴う検定は行われませんでしたので、現在使われている教科書につきまして調査し、愛甲採択地区協議会にて協議しましたので、ご承知おきください。

補足説明は以上です。

○（佐藤教育長） それでは、国語と書写から始めたいと思います。

国語と書写につきましては関連がありますので、続けて審議をさせていただきます。

○（森指導室指導主事） それでは、国語と書写についてご報告します。

まず国語ですが、現在使用している発行者は光村図書であります。愛甲採択地区協議会の意見集約の結果におきまして、採択の対象となる教科書発行者4者のうち、全委員が光村図書を推薦しておりました。

委員の主な意見といたしましては、光村図書がよい。語彙ブックが語彙を豊かにする。また、学びのサイクルの話で「試行錯誤」の言葉があり、あえて試行錯誤する場面があることがよいと思う。光村図書がよい。見通しを持ちながら学習に取り組むことができ、愛川・清川の生徒に分かりやすい。光村図書がよい。論理立てて考えられるよう工夫がされているなどの意見が出されております。

次に、書写についてご報告いたします。

現在使用している発行者は東京書籍であります。愛甲採択地区協議会の意見集約の結果におきましては、採択の対象となる教科書発行者4者の投票のうち、大多数が東京書籍に投票され、また、教育出版、光村図書についても投票が見られました。その結果、東京書籍を推

薦しておりました。

また、委員の主な意見といたしましては、東京書籍がよい。日常生活で活用できる例が多い。自分のノートを見返すことができる。自分の文字を見返すことがよい。光村図書は領域を超えた学びを行うことができる。各社工夫を凝らしている。光村図書と東京書籍はシートが充実しているなどの意見が出されております。

国語と書写については、報告は以上でございます。

○（佐藤教育長） それでは、教育委員さんよりご質問等がございましたらお願いいたします。

梅澤委員。

○（梅澤委員） 一括審議ということで、書写の、東京書籍多かったと、大多数という表現でしたが、それが何票入っていて、それ以外どの会社から何票入っていたのか教えてください。

○（佐藤教育長） 事務局お願いします。

○（森指導室指導主事） 東京書籍 9 票、教育出版 2 票、光村図書 1 票です。

以上です。

○（梅澤委員） 合計12票ということで間違いないですね。

○（森指導室指導主事） はい。

○（佐藤教育長） ほかにいかがでしょうか。

篠崎委員。

○（篠崎委員） そうしましたら国語ですけれども、最近自分の娘も含めてなんですけれども、とても読書離れが進んでしまっていると思ひまして、読書活動については何か取り上げられたいようなものは各社あったのでしょうか、教えていただければと思います。

○（佐藤教育長） 事務局お願いします。

○（森指導室指導主事） 各社お勧めの本を紹介してある項目があります。光村図書では、「本の世界を広げよう」の中で紹介をしております。

以上です。

○（佐藤教育長） ほかにいかがでしょうか。

齊郷委員。

○（齊郷委員） 光村図書の語彙ブックについて、どのようなものですか。

○（佐藤教育長） 事務局お願いします。

○（森指導室指導主事） 語彙ブックに関しては本文と資料の間に掲載しており、学年に応じ、情景を表す言葉、心の動きを表す言葉など、語彙力を鍛え、表現が豊かになるように内容を

掲載しております。

以上です。

○（佐藤教育長） ほかにございますか。

それでは、ほかに質問がないようでございますので、協議に入りたいと思いますが。

どうぞ、梅澤委員。

○（梅澤委員） 国語について、光村図書とても良かったというふうに評価をしています。現場の教員とお話をする際に、多くの人が学習指導要領をあまり読んでらっしゃらない。そして、今回学習指導要領改訂後に令和の日本型学校教育が4年度に出され、第4期教育振興基本計画がさらにその2年後に出され、社会変化が激しいので、それに合わせて先生方もアップデートしなければならないけども、なかなか現場が忙しく、そのように新しいものになかなか深い理解がないなという、そういうイメージ持っています。

そういった中で、先生方が一番目にするのはやはり教科書なんです。つまり教科書の中身で先生方に学びの機会を持たせること、これが私はすごく重要なと思って、教科書を拝見しています。

光村は何が良かったかというと、目次の「学習の見通しを持とう」ですね。単元別目標というのはどの教科書会社さんもあったのですが、例えば知識・技能のマトリックスの中には、意見・根拠、語感・語彙、思考・判断・表現であれば、集める・整理する・伝え合うなど、一つの見開きに、どんな学習をしてどんな力を身につけるのかというのが集約されていたように感じています。

このことは、学習者にとって見通しを持たせることに加えて、教員の学びにもなるなというふうに思っておりました。このような学習の見通しの持たせ方、実は今回の改訂でかなり多くの教科書会社さんがされています。なので、どの教科書会社も良かったなと思っていたのですが、光村さんはとりわけ1ページに見やすく図解化されて視野ができる点が、私は加えて良かったなというふうに思っています。

加えて、「思考の地図」ですね。文章を論理的に構造化したりとか、私も昔説明文とかあまり好きじゃありませんでしたが、自分が物書きをするようになって、やはり文章を論理的に構造化する力って重要だなというふうに思っておりますし、それに自由な思考を分かりやすく述べたりするようなページも多かったなというふうに見ています。

また、思考力、判断力と表現力がセットにされている点も非常に良く、私には映りました。なので、光村図書大賛成です。

以上です。

- （佐藤教育長） 光村図書がいいのではないかとこのご意見でございます。

ほかにご意見等ございましたらお願いします。

篠崎委員。

- （篠崎委員） 国語の教科書についてなんですけれども、私も光村図書さんの語彙ブックを拝見して、とてもいいなと思いました。先ほどもちょっと自分の子供も読書離れが進んでいるというふうなことを言ったのですが、言葉を知らな過ぎまして、文章を作るときなどに、自分が伝えたいことを上手に伝えられないということを感じていましたので、この語彙ブックを拝見したときに、これはすごく生徒さんたち勉強になるのではないかなというふうに感じましたので、私も光村図書さんがいいのではないかなというふうに感じております。

また、書写のほうは、東京書籍さんの活用ブック、やはり同じような意味合いでとても良いなと思いました。生徒さんたちが勉強するに当たって、活用できるのではないかなというふうに感じました。

以上です。

- （佐藤教育長） 教科書は光村図書、そして書写のほうは東京書籍がいいよだというご意見をいただきました。

ほかにかがでしょうか。

- （齊郷委員） 書写のほう、うちは東京書籍の毛筆の筆順について、トン・スー・ピタという、非常にイメージがしやすいような形で記載されている。実際見たらこうやって書く、止めたりする、ぴたっとするということはとても分かりやすいなと思いました。また、手書き文字についてなどの資料も充実しているというのはすばらしいなと思いました。

以上です。

- （佐藤教育長） 書写については東京書籍がよいのではないかとこのご意見でございました。ほかにかがでしょうか。

梅澤委員。

- （梅澤委員） 書写についてですが、まず4者拝見しましたが、人名漢字が楷書・行書で丁寧な載っている会社と、そうでない会社があったかなというふうに見ています。東京書籍は載っていましたね。今キラキラネームな生徒さんが増えているので、やはり人名漢字表に載っている漢字を広く載せておくことは、一人一人の生徒に合わせてよりよい字が書けるようになるので、必要かなというふうに思います。

あと、東京書籍さんは魔法の 動画、やはりQRコードを上手に使っていたなというふうに見ていますので、そのあたりも良かったと。なので東京書籍賛成です。

○（佐藤教育長） 書写は東京書籍でよろしいのではないかというご意見です。

大貫委員さん、いかがですか。

○（大貫委員） 同じです。

○（佐藤教育長） 教科書のほうは。

○（大貫委員） 教科書は光村がいいなとは思っていた、教科書を見させてもらったので、ぜひ教科書、子供と先生だけじゃなくて親御さん、保護者にも読んでもらいたいですよね。保護者の立場に立つと、やはり光村のような教科書が読みやすい、私はそう思いました。光村図書さんでいいかなというふうに思います。

○（佐藤教育長） 教科書のほうは光村図書がいいのではないかというご意見でございました。

皆様方のご意見等をお伺いすると、教科書については光村図書、書写については東京書籍がいいのではないかという判断ができるというふうに思えますが、いかがでしょうか。よろしいですか。

（「はい」との声あり）

○（佐藤教育長） それでは、特にご意見ないようですので、国語については光村図書、書写については東京書籍を採択することと決定いたしました。

それでは、続きまして、社会・地理的分野と地図を行います。

社会・地理的分野と地図につきましては、関連がありますので、続けて審議させていただきます。

事務局から報告をお願いいたします。

指導主事。

○（会場指導室指導主事） それでは、社会・地理的分野と地図についてご報告します。

まず、社会・地理的分野ですが、現在使用している発行者は教育出版であります。愛甲採択地区協議会の意見集約の結果におきましては、採択の対象となる教科書発行者4者のうち、全委員が帝国書院を推薦しておりました。

また、委員の主な意見といたしましては、帝国書院がよい。章を貫く問いが掲載されている。帝国書院がよい。関連するページの記載があり、学びを連携させやすい。帝国書院がよい。思考ツールが課題解決に向けて活用でき、主体的な学びに向かうことができるなどの意見が出されております。

次に、地図についてご報告します。

現在使用している発行者は帝国書院であります。愛甲採択地区協議会の意見集約の結果におきましては、採択の対象となる教科書発行者2者のうち、全委員が帝国書院を推薦しておりました。

また、委員の主な意見といたしましては、帝国書院。地図と教科書の関連がよい。また、視覚的にも見やすい。鳥瞰図が掲載され見やすいことから、総合的に帝国書院がよい。帝国書院がよい。地図の作り方が伝統的で、よく作られているなどの意見が出されております。

社会・地理的分野、地図についてのご報告は以上でございます。

○（佐藤教育長） それでは、教育委員さんよりご質問等がありましたらお願いいたします。

私のほうから1点質問ですけど、帝国書院の思考ツール、これについて、具体的に授業の場面でどのように活用していくのかというところ、説明をお願いしたいと思います。

指導主事。

○（会場指導室指導主事） 帝国書院では、考えを整理する方法として、思考ツールが巻頭に紹介されています。また、デジタルコンテンツでは、教科書に掲載されている以外にも6種類紹介されており、充実しております。授業の中では比較や整理など、用途によって話合いの場面や、個人で考えていく場面で活用していくことになるかと思います。

以上です。

○（佐藤教育長） ありがとうございます。

ほかにいかがですか。

梅澤委員。

○（梅澤委員） 帝国書院に賛成です。まず各章の問い、いわゆる大テーマですね、章における大テーマがあって、その上で学習課題が提示されている点が良かったかなというふうに思っています。

それぞれの問いが、ピンポイントの知識について知ろうとかいう話ではなくて、いわゆる歴史的事象を構造化しよう的な感じで問われていたのが、すごく良かったなというふうに思っています。ご存じのとおり、高等学校でも現行の学習指導要領から歴史探究、日本史探究であったり世界史探究とか、いわゆる記憶の教科から社会脱却しようとしていますよね。となったときに、QRコードじゃなくてワークシートがワードファイルであったところも、非常に良かったかなと思っています。

つまり、ICTを活用して知識を自分の中で構造化しやすいような、そういったものにな

っていました。ただワードファイルだけでなく、PDFもあったように覚えていますね。なので、紙で印刷をしてそこに手書きでも構わないし、あるいはPDFにタッチペンで記入することも可能であると。そのあたりの広がり方が非常に良かったかなというふうに思っていますし、その上にワークシートも付けてくれるということは、先生方の働き方改革につながりますよね。そのあたりが教育委員会としてもすごく推せるのではないかなと思います。

以上です。

○（佐藤教育長） 帝国書院がいいのではないかというご意見でございます。

ほかにいかがでしょうか。

齊郷委員。

○（齊郷委員） 地図において、帝国書院の鳥瞰図が見やすいという報告がありましたが、どのような点において見やすいと判断されたのですか。

○（佐藤教育長） 指導主事。

○（会場指導室指導主事） 鳥瞰図と共に帝国書院の場合イラストも一緒に掲載されており、特色が視覚的に読み取ることができる、そして情報量についても適切であり、精選された情報が掲載されているものです。

以上です。

○（佐藤教育長） ほかにご質問、もしくはご意見等がありましたらお願いします。

梅澤委員。

○（梅澤委員） 地図についても帝国書院、いいなと私も思っていました。おっしゃるとおりで鳥瞰図及び情報量ですね。東書さんもすごく丁寧に作られているのですが、個人的な見解として、色の情報がちょっと多過ぎるなというふうに見ています。ただでさえ文字情報、一体的な地図の情報に加えて、ちょっと色が多過ぎて、私が年なのか、ちょっとちかちかしたなという印象を持っているので、帝国書院のほうが見やすかったなという印象を持っています。

以上です。

○（佐藤教育長） 地図についても帝国書院がいいのではないかというご意見です。

ほかにいかがでしょうか。

大貫委員。

○（大貫委員） 教科書のほうはやっぱ帝国書院がいいと思いました。愛川町のソーラー発電の挿入写真なんかもあって、それだけだって地元のものが載っているということで、扱い

やすいなど。それから地図、もちろん帝国書院を選んだんですけども、読図資料は教科書でやって、なおかつ地図でもやるんですよ。だから関連づけていいかなというので、帝国書院の地図がいいと思いました。

それから、地図帳は何も地理だけでなく、歴史の分野とか公民でも使いますよね。例えば北方領土のなんか話をするときに、当然見開きで地図帳を最初に開いたときに、北方領土の日本の北海道のところの色分けなんかも、帝国書院ははっきりと我が国の領土ということで明記して、東京書籍さんのほうはまだそこは不確かだというので、少し色分けにしている、その辺の表現なんかも、教える立場としては歴史の分野、公民の分野でも、北方領土はこうですよということを教えたいので、帝国書院の地図のほうが使いやすいなど。もうその1点だけを見ても感じました。

以上です。

- （佐藤教育長） 帝国書院がいいのではないかというご意見でございます。

梅澤委員。

- （梅澤委員） 地図に関して言うと、統計情報が帝国書院のほう新しいものを使っていたね。その点も非常に良かったかなと。一度採用したら数年間使う関係上、2020年、2021年、2022年情報、とにかく帝国書院のほう新しい情報を使っているなというふうにご意見ありますので、その点でも帝国書院良かったと思っています。

- （佐藤教育長） 帝国書院がいいのではないかとということでございます。

ほかにいかがでしょうか。

篠崎委員。

- （篠崎委員） ちょっと私は教育者ではないので詳しいことは言えませんが、地理の教科書について、最初にやっぱり学習の課題が明確に分かっていて、どんなことをそのときにこの章で学ぶのかというのがはっきりしていたので、これらは生徒さんも分かりやすいのではないかな、先生も教えやすいのではないかなというところで、帝国書院がいいかなと思いました。

地図のほうもとても見やすいと思いました。詳しいことは分からなくて申し訳ないのですが、けれども、あんまりごちゃごちゃしちゃうと見にくいというところは、全くそのとおりだと思いますので、ほどよい情報が載っているというところで、帝国書院さんがいいかなというふうに感じました。

以上です。

○（佐藤教育長） 教科書、地図共に帝国書院がいいのではないかとご意見でございました。

ほかにございますか。

それでは、今お聞きした状況ですと、総合的に判断させていただきまして、社会は帝国書院、地図も帝国書院という形にしたいと思いますが、いかがでしょうか、よろしいですか。

（「はい」との声あり）

○（佐藤教育長） それでは、特にご意見等はないようですので、社会・地理的分野は帝国書院、地図も帝国書院ということで採択することに決定いたしました。

続きまして、社会・歴史分野を行います。

事務局から報告をお願いいたします。

○（岡田指導室指導主事） それでは、社会・歴史的分野についてご報告いたします。

まず社会・歴史分野についてですが、現在使用している発行者は帝国書院であります。愛甲採択地区協議会の意見集約の結果におきましては、採択の対象となる教科書発行者8者の投票のうち、大多数が帝国書院に投票され、また、日本文教出版についても投票が見られました。その結果、帝国書院を推薦しておりました。

また、委員の主な意見としましては、日本文教出版がよい。歴史をどう生かすかを考えることが大切。帝国書院がよい。身近な場面が掲載されており、愛川・清川にとってなじみやすい。生徒にとっても興味が湧くのではないかと感じる。帝国書院がよい。単元を通して思考力を育てる学習ができるなどの意見が出されております。

社会・歴史分野について、報告は以上となります。

○（佐藤教育長） それでは、ご質問等がありましたらお願いいたします。

梅澤委員。

○（梅澤委員） 大多数が帝国書院、それ以外にも数票、大多数が帝国書院ということだったと思うのですが、何票帝国書院で、それ以外どこに何票入ったのか教えてください。

○（岡田指導室指導主事） 帝国書院につきましては11票入っておりまして、日本文教出版に1票入っております。

以上です。

○（佐藤教育長） 帝国が11票で日本文教が1票ということですね。

ほかにいかがでしょうか。

齊郷委員。

○（齊郷委員） 帝国書院の報告書にあるタイムトラベルというのはどういうものですか。

○（佐藤教育長） 事務局お願いします。

○（岡田指導室指導主事） 帝国書院のタイムトラベルについてなんですけれども、各時代の始めに設けられておりまして、各時代の様子を概観する資料となっております。イラストを通じて当時の社会への関心が深まり、見通しを持った学習ができるようになるものです。

以上です。

○（佐藤教育長） ほかに。

篠崎委員。

○（篠崎委員） 帝国書院さんで、身近な場面がいろいろ紹介されているということですが、具体的にどんなものをちょっと教えていただければと思います。

○（岡田指導室指導主事） 帝国書院では、「絹の道」という日本の製糸業が掲載されております。近隣の八王子が紹介されておりますが、愛川町にとっても絹についてはなじみが深いものであり、生徒にとって興味・関心を高める内容であるかと思います。

以上です。

○（篠崎委員） ありがとうございます。一応綿糸業、八王子が中心に載せられているということですね、ありがとうございます。

○（佐藤教育長） ほかにいかがでしょうか。

それでは、ご質問がないようでございますので、では、これから協議のほうに入りたいと思います。

梅澤委員。

○（梅澤委員） 帝国書院賛成ですね。コウインにおいても非常に探究的な内容があったこと。先ほど申し上げたとおり、事実に知識から構造的知識への転換が図られる。先生方へもそういう教え方をしなさいというリードが埋め込まれたような、そういう教科書だというふうに関心を持っています。

この問題について、実はほかの教科書会社さんも少しその傾向が強まってきたかなと思っています。以前ですと線を引いて終わるような、いわゆる知識の羅列型の教科書が多かったのですが、少し学習要素、探究的な学びにつながるような要素が埋め込まれているなという印象を持っています。その中でも、とりわけ帝国良かったかなと思っています。

また、内容としてアントレプレナーシップ教育というものですけれども、いわゆる企業家教育につながるような内容が含まれていたりなど、そのあたりも非常に新しい視点を持って

取り組まれているなという印象を持っています。なので、帝国書院賛成です。

以上です。

○（佐藤教育長） 帝国書院がよろしいのではないかというご意見です。

ほかにいかがでしょうか。

大貫委員。

○（大貫委員） 私も帝国書院でいいなと思いました。教科書の内容に、学校の先生が教材研究をしやすい内容が多いと思う。言い方は失礼かもしれないけど、先生に勉強してもらうには、この教科書がいい。

例えば、八王子で糸の話があって、愛川町も現に町で教えている先生方が、かつて愛川町が綿糸業で栄えていたなんていうのはご存じない。だからそれを勉強する材料にも、この教科書から使える。それから例えば、原三溪の糸の商人の記事なんかも載っているし。

あと、戦前の国際連盟の時代に、日本が理事として一役買っていた。例えばドイツ兵の捕虜が日本に来て第九を発表したなんていう記事載っていますけども、それから延長して、実は地元この愛川町でもそのときに、昭和の初期ですけども、何と今でいう中学生ぐらい、昔は高等科と言いましたが、ちゃんとわらじを編んでエチオピアに支援物資として送っているという、そういうふうなことまであったということを、この第一次大戦後の国際連盟の勉強を、先生がしてもらいたい、そういうようなもので使える教科書。

例えば、隣の荻野あたりで自由民権運動が盛んだったと。確かに教科書の201ページに出ています。もうそこからもう県央地区は自由民権運動もすごく盛んだったと。石井道三さんなんていう人もいますけど、そういうようなことが、学校の先生がそこから勉強をして、子供たちに教えることができる材料が豊富に載っているのは帝国書院かなというふうに思いました。そんなことで帝国書院いいのではないかなと。

あと、先ほど日本文教出版さんも1票入ったというのが聞きましたけども、たしかに愛川町にも中津飛行場の戦跡があるのですが、現在の先生方が今の子供たちに教えるには、まだ研究不足というとおかしいけど、まだそこまで教えるのはちょっと難しいかなと思い、やはり帝国書院に戻ってこっちかなというふうに思いました。

○（佐藤教育長） 帝国書院がいいのではないかというご意見でございます。

ほかにございますか。

篠崎委員。

○（篠崎委員） 私も帝国書院さんのタイムトラベルですね、そのときの時代の風景を見開き

で大きく見ることができて、一瞬にしてその時代の雰囲気がつかめるというか、まず目から入っているいろんなことを学べるという、そういったところで、生徒さんたちも勉強に入りやすいのかなと思いました。なので、帝国書院さんがいいかなと思っております。

○（佐藤教育長） 確かに子供たちもイメージを描きやすいというのがあるかもしれないですね。

ほかにありますでしょうか。

それでは、ほかにないようでございますので、協議を終結したいと思います。

ご意見をお伺いしまして、総合的に判断をさせていただいて、社会・歴史分野は帝国書院としたいと考えますが、いかがでしょうか。

（「はい」との声あり）

○（佐藤教育長） それでは、特にご意見等がないようでございますので、社会・歴史分野は帝国書院を採択することと決定いたしました。

続きまして、社会・公民的分野を行います。

事務局から説明をお願いいたします。

○（森指導室指導主事） それでは、社会・公民的分野についてご報告します。

まず社会・公民的分野ですが、現在使用している発行者は帝国書院であります。愛甲採択地区協議会の意見集約の結果におきましては、採択の対象となる教科書発行者6者のうち、全委員が帝国書院を推薦しておりました。

また、委員の主な意見といたしましては、帝国書院のインクルーシブな観点から掲載されているところがよい。地方財政について身近なところから考えやすい資料が掲載されている。SDGs、グループ討議など、いろいろな観点から帝国書院がよい。東京書籍、教育出版、帝国書院の3者は総合的に良いが、帝国書院は身近なところでの取扱いがあってよいなどの意見が出されております。

社会・公民的分野についての報告は以上でございます。

○（佐藤教育長） それでは、これからご質問等がありましたらお願いいたします。

○（梅澤委員） 一部訂正します。先ほどのアントレプレナーについては、今の公民のところの私、メモを読んでしまいました。大変失礼しました。歴史についても同様に、帝国書院でよかったと思っております。まずその訂正をさせてください。

○（佐藤教育長） 先ほどのご意見の中で、アントレプレナーについては公民の意見だということですね。

○（梅澤委員） はい。

○（佐藤教育長） 前回の教科書についても帝国がいいということで、それは変わらないということですね。分かりました。

ほかに質問等がございましたらお願いいたします。

齊郷委員。

○（齊郷委員） 帝国書院の報告書にある、厚木市の経済状況を示す内容というのは、どのようになっていますか。

○（佐藤教育長） 事務局お願いします。

○（森指導室指導主事） 厚木市のインターチェンジ付近の工業地帯についての写真と共に掲載されております。産業が盛んなことから、企業の税収で財政が潤っているため、地方交付税が交付されないことが紹介されております。

以上です。

○（佐藤教育長） ほかにご質問等がありますでしょうか。

では、質問がほかにないようでございますので、協議に入りたいと思います。

ご意見等がありましたらお願いいたします。

梅澤委員。

○（梅澤委員） 一貫して、帝国であることも含めて賛成をしたいというふうに思います。冒頭地理のときにもお話ししたとおり各社の大きなテーマがあって、その中で各時間に対する課題が適切に提示されているなというふうに思いますので、探究的に公民、民主的なことについて学んでいくということで、非常に良かったなというふうに思っています。

なお、公民に関して、同様に幾つかあったなというふうに思っておりますが、帝国書院さんがやっぱりすごく、その中でもひときわ良かったというふうに見ています。

以上です。

○（佐藤教育長） 帝国書院がいいのではないかというご意見でございます。

ほかにいかがでしょうか。

大貫委員。

○（大貫委員） 各社挿入する資料、図版、統計資料、こういったようなものを見させてもらっていると、川崎市それから相模原市が多いですよ。帝国書院さんと日本文教出版さんぐらいいかな、厚木市それから小田原があるのは。さらに言うと、地元愛川町の太陽光発電の写真とか、この198ページに載っているのも帝国書院です。

さっき指導主事の説明にあった、近隣の厚木市が取り上げられているというのも身近だろう、こういったように身近を感じられるような教科書で子供たちが学ぶというのがいいかなというふうに思って、帝国書院の教科書がいいなというふうに思いました。

- （佐藤教育長） 身近なところで子供たちが興味を示すということでしょうかね。帝国書院がいいのではないかというご意見でございます。

ほかにいかがでしょうか。

篠崎委員。

- （篠崎委員） 身近なところというお話があったのですけれども、私も本当全くそのとおりで、帝国書院さんのアクティブ公民は、すごく勉強になることがいろいろ出ていたんですね。独り暮らしするにはどれくらいお金がかかるとか、パン屋さんを起業するにはどんなことをしたらいいとか、すごく生活に密着した問いを、生徒さんたちが考えられるようになっているので、私たち大人も読んでいて楽しいなというふうに思いました。

帝国書院さんの18歳の準備というところですね、メディアとの向き合い方とか、契約書を交わすときにはどんなことに気をつけたらいいとか、そういった本当に生活に密着したことが詳しく出ていて、生徒さんたちにすごく勉強になるのではないかなという印象を受けたので、私は帝国書院さんがいいかなと思いました。

以上です。

- （佐藤教育長） 帝国書院がいいのではないかというご意見です。

ほかにございますか。

それでは、ほかにないようでございますので、協議を終結したいと思います。

社会・公民的分野につきましては、皆様のご意見を総合的に判断させていただきまして、帝国書院としたいと考えますが、よろしいでしょうか。

（「はい」との声あり）

- （佐藤教育長） 特にご意見ないようでございますので、社会・公民的分野は帝国書院を採択することに決定いたしました。

続きまして、数学を行いたいと思います。

事務局からの報告をお願いします。

- （森指導室指導主事） それでは、数学についてご報告いたします。

現在使用している発行者は東京書籍であります。愛甲採択地区協議会の意見集約の結果におきましては、採択の対象となる教科書発行者7者の投票のうち、東京書籍、学校図書、教

育出版、啓林館の順で僅差の投票となり、上位２者の再投票のうち、多数が東京書籍に投票され、その結果東京書籍を推薦しておりました。

また、委員の主な意見といたしましては、東京書籍がよい。定理や計算を活用する場面がある。学びの系統性が明確化されている。小中高のつながりが明確である。学校図書がよい。導入での違いがあり、愛川・清川の生徒にとって分かりやすい。主体的な学びで考えると東京書籍がよい。東京書籍は学校からの意見も、生徒が自主的に学ぶことができると記載されているなどの意見が出されております。

数学についての報告は以上であります。

○（佐藤教育長） それでは、教育委員さんからのご質問等がありましたらお願いいたします。
梅澤委員。

○（梅澤委員） 最初の投票で、どの会社は何票入ったのか。決戦投票で東京書籍に何票、そしてその他の会社は何票入ったのか教えてください。

○（佐藤教育長） 事務局お願いします。

○（森指導室指導主事） 最初の投票、東京書籍６票、学校図書３票、教育出版２票、啓林館１票。決戦投票、東京書籍７票、学校図書５票です。

以上です。

○（佐藤教育長） ほかにご質問ありましたらお願いいたします。
篠崎委員。

○（篠崎委員） 私も実はすごく数学が苦手で、小学生の算数から数学になるといって、身構えてしまうと思うのですが、小学校の算数から中学校の数学に移り変わるに当たって、何か各社工夫されているところなどありましたでしょうか。

○（佐藤教育長） 事務局お願いします。

○（森指導室指導主事） １年生では小学校の振り返り、また２年生では１年生の振り返りを行う内容、３年生では２年生の振り返りを掲載しており、復習という観点で、各社それぞれ設けられております。

以上であります。

○（佐藤教育長） 各社復習という観点で設けられているということでございます。
ほかにいかがでしょうか。

齊郷委員。

○（齊郷委員） 東京書籍の導入がどのような使われ方がされているか、教えてください。

○（佐藤教育長） 事務局お願いします。

○（森指導室指導主事） 調べてみる、予測を立てるなど、各社ともに問いを持たせる工夫がされています。東京書籍では、考えてみよう、調べてみようが設けられ、今まで学んだことから、自ら考えたり調べたりする活動を通して、見通しを持たせる工夫がされております。以上です。

○（佐藤教育長） ほかにいかがでしょうか。

それでは、質問なければ協議に入りたいと思います。ご意見等がありましたらお願いいたします。

梅澤委員。

○（梅澤委員） 割れたということですが、私は東京書籍良かったなというふうに評価をしています。何年生だったかな、冒頭にドミノ倒しがあって、いろんなルートのドミノ倒しがありますよね。どれが一番早く到達するかみたいなね。とかく数学というと、算数とは違って実生活から遠く離れたもののよう感じやすい、中でも、比較的、いわゆる数学的思考を回すことによって、実は実際にやってみずともただでできる。当然研究授業とかであれば、やってみてその結果を見て、わぁと生徒たちが歓声を上げるような瞬間もきっと思い描けますし、非常に思考を揺さぶる問いが多く設けられていたなというふうに思っています。

いわゆる新しい学習指導要領の評価のポイントで、主体的に学習に取り組む態度という観点があるのですが、その中で重要視されている自らの学びを調整する側面、これがいまひとつ学校現場の先生方が理解されていないなというふうに、毎回聞き取り調査で思えます。皆さん成績つけていますよねというのでも、状況においてもいまひとつ理解が深くないなど。

この東京書籍の良かったところは、つかむ、見通しを立てる、自分で問題解決をして振り返ってという、まさに自らの学習を調整する側面がしっかり埋め込まれていたこと、これが非常に良かったなというふうに見ています。

つまり、先ほど他教科でも申し上げたとおり、教科書を通じて先生たちが主体的に学習に取り組む、あるいは主体的に学習を調整する側面について理解を深める、非常に良い教科書だなと思っています。なので東京書籍賛成です。

○（佐藤教育長） 東京書籍がいいのではないかというご意見です。

ほかにいかがでしょうか。

篠崎委員。

○（篠崎委員） 先ほども、算数から数学への移り変わりのところをちょっとお伺いしたんで

すけど、私が東京書籍さんの教科書を見せていただいたときに、ゼロ章で、算数から数学へ変わるときのいろいろな、足す・引くだったものがいろいろ変化したり、そういった言葉の説明から分かりやすく説明されていて、児童から生徒に変わるときに入りやすいのかなという印象を受けましたので、東京書籍さんがいいかなと感じております。

○（佐藤教育長） 東京書籍がいいのではないかというご意見ですね。

ほかにいかがでしょうか。

私は各社とも予測を立てるということで、導入というのはどの教科も大切だと思いますね。そういう中で、東京書籍さんは考えてみよう、調べてみようというその部分において、子供たちが見通しを持ちながら調べる活動ができるのではないかなというふうに思っています。そういう面で、東京書籍さんがいいのではないかというふうに考えています。

また、先ほどもお話がありましたけど、学校からの意見の中でも、生徒自身、学習の手順が深まることが、東京書籍さんの教科書ができるというようなご意見もいただいておりますので、子供たちにとっても東京書籍さんがいいのではないかというふうに考えております。

ほかにいかがでしょうか。

○（梅澤委員） 個人的な感想として。

○（佐藤教育長） 梅澤委員。

○（梅澤委員） 小学校と比較していいかどうか、QRコードを上手に使えている教科書会社さんと、そうじゃない会社が多かったかなというふうに見ています。これからだんだんコンピューターベースのテストに変わっていくはずですよ。全国学状も、いよいよ学習状況調査については全員端末を使って。センター試験、共通テストも全部マークシートでいけることを考えると、より一層、数学的なところから練習問題の自動採点化をもっと進めていいかなと、個人的に思っています。これはもうただの感想です。

以上です。

○（佐藤教育長） どこもそうなっていくとは思いますがね。

ほかにご意見どうでしょうか。

齊郷委員さんいかがですか。

○（齊郷委員） 私もデジタルコンテンツを見ましたが、途中式が表示されていてヒントがあったり、子供たちが非常に問題を自分の立場で考えて解こうとする力が助長される、そういった教材じゃないかということで、東京書籍のほうがいいと思いました。

○（佐藤教育長） 東京書籍さんのほうがいいのではないかというご意見ですね。

ほかにございますか。

それでは、協議のほうを終結したいと思います。

皆様方のご意見を総合的に判断させていただきまして、数学は東京書籍としたいと考えますが、いかがでしょうか。

(「はい」との声あり)

- (佐藤教育長) それでは、特にご意見等がないようございますので、数学は東京書籍を採択することに決定いたしました。

続きまして、理科を行いたいと思います。

事務局から説明をお願いいたします。

- (森指導室指導主事) それでは、理科についてご報告いたします。

現在使用している発行者は大日本図書であります。愛甲採択地区協議会の意見集約の結果におきましては、採択の対象となる教科書発行者5者の投票のうち、大多数が東京書籍に投票され、また啓林館についても投票が見られました。その結果、東京書籍を推薦しております。

また、委員の主な意見といたしましては、身近な実験を生徒自身でできることから、東京書籍がよい。子供たちが系統立てて見通せる観点として東京書籍がよい。東京書籍の内容量が子供たちの興味を引くものであって、内容も丁寧に作られている。先生たちも使いやすいと考えられるなどの意見が出ております。

理科についての報告は以上です。

- (佐藤教育長) それでは、ご質問等がありましたらお願いいたします。

梅澤委員。

- (梅澤委員) 投票で東京書籍が何票で、それ以外の会社は何票だったか教えてください。

- (佐藤教育長) 事務局お願いします。

- (森指導室指導主事) 東京書籍11票、啓林館1票です。

- (佐藤教育長) ほかにいかがでしょうか。

私から1点確認ですけれども、冒頭大日本図書のほうについては、今使っている教科書を審査したというお話ありましたけれども、特に内容について更新されていない部分、何か気がついたことってあるんでしょうか。

事務局お願いします。

- (岡田指導室指導主事) 内容についてなんですけれども、ノーベル賞とかそういったもの

の記載がありますけれども、そちらのほうが更新されていない状況となっておりました。データの数値では、協議会の中では大きな影響はないということが出ておりました。

以上です。

○（佐藤教育長） ありがとうございます。

ほかにご質問ある方は。

それでは、ご質問ないようでございますので、協議に入りたいと思います。

ご意見等がありましたらお願いいたします。

梅澤委員。

○（梅澤委員） 東京書籍賛成です。探求の流れすごく良かったですね。誰もができる探求、3つの見える化でしたかね。育成する、資質・能力が見えるのがまず1番目。これ先生方に本当に意識してもらいたいことですよ。ただただ知識を記憶させるのではなくて、そのポテンシーが見えること、そして探求の流れが見えること、そして3つ目に理科の見方・考え方が見えることで、これをまさに先生たちが確認しつつ、子供たちと共につけたい力、探究の方法、理科的なサイエンスに対するそういうメタラーニングができるといいなというふうに思っていました。

あと東京書籍よかったのは、クエスチョンマークとエクスクラメーションマークの使い方ですね。僕ら深い学びを定義するときに、やはり没頭・夢中の瞬間をいかに作るか。没頭・夢中の瞬間って、頭の上にクエスチョンマークが見える瞬間と頭の上にびっくりマークが見える瞬間が、それが教科書の中に書かれたことはすごく良かったなと思って見ています。東京書籍賛成です。

○（佐藤教育長） 東京書籍がいいのではないかとというご意見でございます。

ほかにいかがですか。

齊郷委員。

○（齊郷委員） これもデジタルコンテンツを見たのですが、実際の実験や映像がワークシートなど実験方法を確認することができて、とても分かりやすく集約されていたというのが、非常に好印象でした。また、自分のペースで何度もそれを見返すことができるということで、反復ができるという部分からも東京書籍でよかったのではないかと思います。

○（佐藤教育長） 東京書籍がいいのではないかとというご意見です。

ほかにございますか。

篠崎委員。

○（篠崎委員） 私も東京書籍さんがいいと思いました。特に自然分野の写真がすごく豊富で種類もたくさんありまして、百聞は一見にしかずといえますか、生徒さんたちもすごく興味を引く内容なんじゃないかというふうに感じました。

一方で、大事なところはクエスチョンマークで隠してあったりして、生徒さんたちが考える、そういった余力も残しているところがいいのではないかと思います、東京書籍さんを私も推薦したいと思います。

○（佐藤教育長） 東京書籍がいいのではないかとのご意見でございます。

ほかにございますか。

私も東京書籍さんがいいのではないかとこのように思います。どういうことかという、やはり内容量が非常に豊かで、子供たちについていろいろ考え方はあると思うのですが、教科書も精選されていたほうが良いという考え方と、それから多くの興味ある内容が入っているほうが良い、それを基に教員が教科書で指導するわけなので、その部分で考えると、非常に興味ある内容が東京書籍さん、今回多いなというのを感じました。

例えば防災特集とか私たちのSDGsとか、非常に興味の持てる内容であって、緊急地震速報等の言葉の説明とかそれはもちろんどの教科書も教科の中ではやるのですが、そういうトピックスとして入れながら子供たちを刺激するようなところが、随所で現れていたなというのを感じました。そういう視点で私は東京書籍がいいと思います。

ほかにいかがでしょうか。

それでは、特にご意見はございませんので、総合的に判断させていただきまして、理科は東京書籍として考えたいと思いますが、いかがでしょうか。

（「はい」との声あり）

○（佐藤教育長） それでは、特にご意見ないようでございますので、理科は東京書籍を採択することに決定いたしました。

続きまして、音楽一般・器楽合奏を行います。

事務局から報告をお願いいたします。

指導主事。

○（会場指導室指導主事） それでは、音楽一般についてご報告します。

現在使用している発行者は教育芸術社であります。愛甲採択地区協議会の意見集約の結果におきましては、採択の対象となる教科書発行者2者の投票のうち、大多数が教育芸術社に投票され、また教育出版についても投票が見られました。その結果、教育芸術社を推薦して

おりました。

委員の主な意見といたしましては、教育出版がよい。コンピューターを利用した作曲について紹介されている。教育芸術社がよい。課題意識を持って主体的に学ぶことができる。長唄の歌唱では旋律が絵のように書かれていて、目で見て分かるようになっている。教育芸術社がよい。課題意識を持って学習に取り組める。

続きまして、器楽合奏についてご報告します。

現在使用している発行者は教育芸術社であります。愛甲採択地区協議会の意見集約の結果におきましては、採択の対象となる教科書発行者２者のうち、全委員が教育芸術社を推薦しておりました。

委員の主な意見といたしましては、教育芸術社がよい。ギター、キーボードなどの運指が絵で表されている。リコーダーの扱いが丁寧であり、興味を引く楽曲がある。唱歌などより丁寧に記載があるなどの意見が出されております。

音楽一般・器楽合奏についての報告は以上でございます。

○（佐藤教育長） それでは、ご質問等がありましたらお願いいたします。

梅澤委員。

○（梅澤委員） 音楽一般のほう、教育芸術社が大多数ということですが、何票で、もう一社が何票だったか教えてください。

○（会場指導室指導主事） 音楽一般のほうですが、教育芸術社が10票、教育出版が２票となっております。

○（佐藤教育長） ほかにいかがでしょうか。

篠崎委員。

○（篠崎委員） 発行者２者あると思うのですが、割と生徒さんたちになじみが深い曲といますか、みんな知っているような曲というのは、どちらか多かった印象を受けていらっしゃいますでしょうか。

○（佐藤教育長） 事務局お願いします。

○（会場指導室指導主事） どちらの会社にもなじみの楽曲は掲載されているのですが、より教育芸術社のほうに多く曲が編集されているということで、協議会の中で調査員からも報告がありました。

以上です。

○（篠崎委員） ありがとうございます。

○（佐藤教育長） ほかにございますか。

それでは、ほかにないようでございますので、協議に入りたいと思います。

ご意見等をお願いいたします。

大貫委員。

○（大貫委員） 一般のほうは教育芸術社、それから器楽のほうも教育芸術社で私いいと思います。理由は三増に獅子舞の伝統芸能があるんですよ。そういうふうなものが地元にあるというのを関連づけて取り上げるのに、やはり教育芸術社の神奈川県 of 郷土芸能の紹介、もちろん教育出版にもありますけれども、そのきめの細かさみたいなもの。それから、器楽も両方、古典の尺八や太鼓、篠笛は紹介しているんですけど、その中で、中学生が取り組む伝統芸能みたいなものを扱っているのは、教育芸術社なんですよ。

今言いました三増の獅子舞なんかも、なかなかこれを保存して継承していくの、今困難ですよ。そういうふうなものに中学生の目を向けさせていくというようなものは大切だと私思っているんで、そういうふうなところへ方向性を向けさせるのは、やはり教育芸術社の器楽のほうの教科書かなと。この2つ、どちらも教育芸術社を推したいなと思いました。

○（佐藤教育長） とともに教育芸術社がいいのではないかというご意見でございました。

ほかにいかがでしょうか。

篠崎委員。

○（篠崎委員） 質問ですいません、ちょっと私質問に戻ってしまうのですが、音楽一般と器楽については、同じ出版社のほうがいいのかというような議論はされたのかなと思ひまして、そこをお伺いしたいと思います。

○（佐藤教育長） 事務局お願いします。

○（会場指導室指導主事） 調査報告の中でも議論が多くございまして、音楽一般と器楽合奏について、同じ発行者のほうにより関連性があるという意見が出されておりました。

以上です。

○（佐藤教育長） 関連があるので、両方同じほうがいいというご意見があったということでした。

ではご意見、梅澤委員。

○（梅澤委員） 先ほど三増の獅子舞の話が大貫委員から出て、そして教育長もその三増の獅子舞の視察に行かれたという話がありましたよね。地域に根差した教科書を採択できること

から、やはりそれらを併せて教育芸術社賛成です。

そのこと以外においても、教育芸術社が非常に優れていたなというふうに思います。一つはかなり継続的に行われているQRコードの活用ですね。パフォーマンス評価をする教科なので、パフォーマンス動画をやはり子供たち目の当たりにする必要があるだろうと。QRコードを読めば、端末で音も動きも全部見せることが可能でありますので、QRコードを上手に使われているなと印象が一つ。

もう一つは、学びのコンパスですかね、実はこのコンパスというのが、先ほど申し上げた主体的に学習に取り組む態度に関わるAARサイクルを掲げているOECDの、多分ラーニング・コンパスからとったのかなと私は見ているところなのですが、このあたりが教科書の中に埋め込まれていて、子供たちが見通しを持って実行をして振り返る、そういう丁寧な学びのデザインがされているなという印象を持っています。なので、一般、器楽共に教育芸術社賛成です。

○（佐藤教育長） 共に教育芸術社がいいのではないかというご意見でございます。

ほかにございますか。

篠崎委員。

○（篠崎委員） 私も教育芸術社さんの教科書を見たときに、巻頭に学ぶ内容、音楽を学ぶ意味が示されていて、何となく教科の一環で音楽を学んでいるんじゃないかなと思いますけれども、人生において音楽がどんな意味を持って、これを学ぶにはどんな意味があるのかなというようなことがちょっと考えさせるようなフレーズがあって、とてもいいなと感じました。

また、著作権などのルールのこと、今ネットでいろんな音楽流れちゃっていますので、その辺、子供たち勝手に何でも使っちゃっていいのかなみたいな印象があると思いますので、そういった著作権とかそういったものも勉強できる、そんなところも詳しく説明されていたかなと思ったので、教育芸術社がいいと思いました。

器楽のほうも、やはり同じ発行者のほうが同じ曲を使われているということでしたので、そろえて教育芸術社さんでいいかなというふうに思いました。

以上です。

○（佐藤教育長） 共に教育芸術社がいいのではないかというご意見でございます。

ほかにございますか。

それでは、ほかにないようでしたら、協議を終結したいと思います。よろしいでしょうか。

それでは、皆様方のご意見を総合的に判断させていただきまして、音楽一般は教育芸術社、器楽合奏も教育芸術社としたいと考えますが、いかがでしょうか。

(「はい」の声あり)

- (佐藤教育長) それでは、特に意見ないようでございますので、音楽一般は教育芸術社、器楽合奏も教育芸術社を採択いたすことに決定いたしました。

続きまして、美術を行いたいと思います。

事務局から説明をお願いいたします。

- (会場指導室指導主事) それでは、美術についてご報告します。

現在使用している発行者は光村図書であります。愛甲採択地区協議会の意見集約の結果におきましては、採択の対象となる教科書発行者3者の投票のうち、多数が光村図書に投票され、また日本文教出版についても投票が見られました。

委員の主な意見といたしましては、光村図書がよい。人とのコミュニケーションを、作品づくりを通して活動できるのがよい。また、別冊の資料が子供たちにとっても分かりやすい。光村図書がよい。国語や他の教科との連動が必要であることから、カリキュラムマネジメントの観点からもよい。日本文教出版の3冊の表紙の連動の仕方が魅力的なつくりになっている。感性が大切にされる教科なので、それを考慮した教科書のつくりとなっているなどの意見が出されております。

美術についての報告は以上でございます。

- (佐藤教育長) それでは、ご質問等がありましたらお願いいたします。

梅澤委員。

- (梅澤委員) 光村が多数と、大多数でなく多数とおっしゃったと思うのですが、何票入っていたか教えてください。

- (会場指導室指導主事) 光村図書が7票、日本文教出版が5票となっております。

- (佐藤教育長) ほかにご質問ありますでしょうか。

篠崎委員。

- (篠崎委員) 報告のところで、別冊の資料が子供たちにとっても分かりやすいということだったんですが、どういったものを教えていただいていた方がいいですか。

- (会場指導室指導主事) 別冊については、教具の使い方や材料、形や色などの情報が掲載されており、生徒たちにとって発想の手助けになるのだと思います。この点から光村図書がよいかと考えております。

- （篠崎委員） ありがとうございます。別冊は光村図書さんしかないということですよ。
- （会場指導室指導主事） そうですね。
- （篠崎委員） 分かりました、ありがとうございます。
- （佐藤教育長） 梅澤委員。
- （梅澤委員） すいません、ちょっと聞き漏らしました。日本文教出版さんの良かった点、どんなご意見が出ていたか、もう一度教えてください。
- （会場指導室指導主事） 日本文教出版だけが3冊の表紙に、なっているのですが、表紙を並べてみたときにその3冊が連動したつくりになっているというところで、感性が刺激されるのではないかというような話が出ておりました。
- （梅澤委員） 3冊連動させないなど。連動できませんからね。なるほど、分かりました。
- （佐藤教育長） 一応そういう意見が出ていたということで。
- （梅澤委員） 出たということですね、はい。
- （佐藤教育長） ほかにいかがでしょうか。
- それでは、質問のほうを終わりにしまして協議に入りたいと思います。
- ご意見ありましたらお願いいたします。
- 梅澤委員。
- （梅澤委員） 光村図書よかったなと思っています。私こう見えて、結構美術館とかへ行くんですけども、教科書の中に美術館が埋め込まれているなという、そういう印象を持っています。本当にQRコードの使い方が上手で、以前は多分絵画を高精細に見せる、拡大するため、すごく細かい点描まで見えるみたいなのところだったのですけれども、今回解説まで加わっているなど。加えて書込みなんかができるページがあったりして、本当に教科書自体はそんなに厚くないです。なんだけれども、そこに非常に丁寧な学びの広がりや埋め込まれている教科書だというふうに評価をしています。
- 美術科としても、年間の時数が非常に少ない教科でありますので、そのあたりの学びの広がりを教科書の中にうまく埋め込まれたなという、そういう印象を持っています。
- 一方、日本文教出版さん、私もよかったのは3冊並べたというよりも、見開きですごく大きな絵を丁寧な印刷でなされている点は、すごく良かったなというふうには見えています。がしかし、やはりQRコードを使っただけの学びの拡張、光村図書のほうがいいなというのが印象です。
- 以上です。

○（佐藤教育長） 光村図書がいいのではないかというご意見でございました。

ほかにございませんか。

齊郷委員。

○（齊郷委員） 私はデジタルコンテンツを見て、最近は非常にすばらしいなと、解説もありなおかつ音声もあって、割と本当の美術館に行っているような、これはいいなというのと、中学生の作品をこの中に取り入れているということで、それを同じ中学生が見ると、制作意欲がかなり沸き立つ、そういう同じ視線で考えていくということができるので、これもやはり、距離が近い仲間が作っているものを目指そうという意識になるということで、これは大変良いということで、光村図書がいいと思いました。

以上です。

○（佐藤教育長） 光村図書がいいのではないかというご意見でございます。

ほかにいかがでしょうか。

大貫委員。

○（大貫委員） 私は3者、開隆堂さんと光村図書と日本文教出版さん、どれもそれぞれ力を入れている分野が違っていいなと思うんですけども、さっきからほかの教科書のときにも、地元のことをいつも言っているんで、そうすると、例えば日本文教出版なんかはあつぎキッズゲルニカが入っているんですね、地元の中学生の作品。それもいいなと思ったんですね。あと、例えば開隆堂さんなんかは神奈川県の間伐か何かの作品だけ載っていて、実は地元の愛川町も間伐材を利用した製品の開発なんかもやっていますんで、これもいいなと。

個人的には、じゃ、どれ選びますかと、決めがたいですよ、だからほかの委員さんの意見を尊重してそれは従います。

○（佐藤教育長） どの教科書もいいのではないかというご意見でございますけれども、ほかにいかがでしょうか。

篠崎委員。

○（篠崎委員） 私は光村図書さんがいいなと思って、中に浮世絵とか日本の絵画を、紙の質感が違った形で入っていて、すごくたくさん割いてあったんですね。西洋の画家にすごく影響を与えたんだよ、実は日本の浮世絵がみたい、そんなような興味深い題材があって、生徒さんたちに日本の魅力を再発見してもらえるのではないかと、なんていう感じがして、私は光村図書さんいいなというふうに思いました。

以上です。

○（佐藤教育長） それでは協議のほうを終結したいと思います。

皆さんのご意見を総合的に判断させていただきまして、光村図書が多いなという、3人いらっしゃると思いますので、光村図書ということで判断したいと思いますが、いかがでしょうか、よろしいですか。大貫委員さん、よろしいですか。

（「はい」との声あり）

○（佐藤教育長） それでは、特にご意見ないようでございますので、美術は光村図書を採択することに決定いたしました。

続きまして、保健体育にいきたいと思います。

事務局から報告をお願いします。

○（岡田指導室指導主事） それでは、保健体育です。

現在使用している発行者は学研教育みらいであります。愛甲採択地区協議会の意見集約の結果におきましては、採択の対象となる教科書発行者4者の投票のうち、大多数が学研に投票され、また大修館書店についても投票が見られました。その結果、学研を推薦しております。

また、委員のほうの意見としましては、学研がよい。紙面構成が、事実内容と視覚的理解というところが1対1の対応になっており、分かりやすい。大修館書店がよい。ストレスに関する記述について丁寧に記載がされている。学研がよい。ストレス対処法は大切である。また、系統性がある点でよいのではないかと感じたということの意見が出ております。

保健体育についての報告は以上です。

○（佐藤教育長） それでは、ご質問がありましたらお願いいたします。

梅澤委員。

○（梅澤委員） 学研が大多数ということですが何票で、大修館が何票だったか教えてください。

○（佐藤教育長） 事務局お願いします。

○（岡田指導室指導主事） 学研が9票で、大修館が3票となっております。

以上です。

○（佐藤教育長） ほかに。齊郷委員。

○（齊郷委員） 今紙面構成についての報告がありましたが、各社どのような構成になっていますか。

○（佐藤教育長） 事務局お願いします。

- （岡田指導室指導主事） 紙面構成についてなんですけれども、見開き中央に本文があってその周りに資料が配置されているなど、特に規則性について見られない会社もありました。

学研につきましては、1 ページの左側に本文、右側に資料という形に配置されていて、見やすい構成となっております。

以上です。

- （佐藤教育長） ほかにいかがでしょうか。

それでは、特に質問はないようでございますので、協議に入りたいと思います。

ご意見等がありましたらお願いいたします。

梅澤委員。

- （梅澤委員） おっしゃるとおり、学研、大修館両方良かったなというふうに見ていますが、学研、とりわけその中で良かったというふうに見ています。ウォームアップ、課題発見、エクササイズ、課題解決、学びを生かす・学びの活用という3段構えで、各見開きが1時間分構成されていることと、先ほど事務局から説明があったとおり、1 ページでの視覚的理解が図りやすい、そういったところが良かったなというふうに思っています。

しいて言うなら、ウォームアップ、エクササイズと来て、なぜ最後だけ日本語なんだという突っ込みたいところではあるんですけれども、でも非常に流れが分かりやすかったかなと思います。

一方、大修館はつかむ、身につける、考える、まとめる、振り返るとなっているのですが、一見同じように見えるんですけども、身につける、考える、のところがこのページで重要なキーワードみたいなことがいくつか並べられていて、そのキーワードを活用してまとめる、振り返るみたいな、何か知識を構造化させたいという意図も見えなくはないのですが、もうひと工夫あってもいいのかなという思いがなくなかったですね。

両方ともストレス対処はよかったという話がありましたが、私はキーワードの活用のさせ方に、ちょっとストレスを感じたなというところであります。

以上です。

- （佐藤教育長） 学研がよいのではないかというご意見でございました。

ほかにいかがでしょうか。

大貫委員。

- （大貫委員） 学研と大修館で比較をして、どちらがいいかなと迷いました。どちらもいい、内容は甲乙つけがたい。

学研のほうは、先ほど指導主事のほうから説明もあったけど、やはりページが見やすいんですよ。それから行間なんかもすっきりしているんですよ。あんまりごちゃごちゃしていると子供はもうそれで嫌なんですよね。だからやはり見やすいというふうに思って、学研かなというふうに思いました。

○（佐藤教育長） 学研がいいのではないかというご意見でございます。

ほかにいかがでしょうか。

篠崎委員。

○（篠崎委員） 私も学研を見てすごくいいなと思いました。心の発達と健康、心と体のつながりなども詳しく説明されていて、生徒さんたち、今中学生が一番そういったことに興味があるといいますか、時期だと思いますので、それが丁寧に書かれていて、最後章のまとめもキーワードでチェックできるようになっていたりして、振り返りもしやすいのかなという印象を受けましたので、紙面も見やすいという部分も合わせて、今の生徒さんには向いているのかなという意味で、学研がいいと思いました。

以上です。

○（佐藤教育長） 学研がいいのではないかというご意見でございました。

ほかにございますか。

それでは、ほかにないようでございますので、協議を終結したいと思います。よろしいでしょうか。

それでは、保健体育についてですが、皆さんのご意見を総合的に判断させていただきまして、保健体育は学研としたいと思えますけれども、いかがでしょうか。

（「はい」との声あり）

○（佐藤教育長） それでは、特にご意見ないようでございますので、保健体育は学研を採択することに決定いたしました。

続きまして、技術家庭の技術分野を行います。

事務局から報告をお願いいたします。

○（岡田指導室指導主事） それでは、技術家庭の技術分野について報告いたします。

現在使用している発行者は教育図書であります。愛甲採択地区協議会の意見集約の結果におきましては、採択の対象となる教科書発行者3者の投票のうち、大多数が教育図書に投票され、また、開隆堂についても投票がございました。その結果、教育図書を推薦しております。

また、委員の主な意見としましては、開隆堂がよい。設計図の課題のページや実習例など、順序立てて作られている。教育図書がよい。週1程度の中で教えていくというところで、丁寧に作られており、生徒のでも進めることができる。教育図書がよい。別冊の編集が魅力的であるなどの意見が出されております。

技術家庭・技術分野についての報告は以上でございます。

○（佐藤教育長） それでは、ご質問がある方はお願いいたします。

梅澤委員。

○（梅澤委員） 同じく、教育図書が大多数ということでしたが、何票入って、開隆堂でしたかね、何票入ったか教えてください。

○（佐藤教育長） 事務局お願いします。

○（岡田指導室指導主事） 教育図書が9票、開隆堂が3票となっております。

以上です。

○（佐藤教育長） 齊郷委員。

○（齊郷委員） 今、別冊の資料が教育図書にあるということでしたが、他社にはそのようなものがありますか。

○（佐藤教育長） 事務局お願いします。

○（岡田指導室指導主事） 別冊の設定があるのは教育図書のみとなっております。

以上です。

○（佐藤教育長） ほかにありますか。

ないようでございますので、協議に入りたいと思います。ご意見ありましたらお願いいたします。

梅澤委員。

○（梅澤委員） 教育図書賛成です。さすがに技術科だけあって、どの教科書会社さんもQRコード、いわゆるテクノロジーの使い方が丁寧に上手だなというふうに思っています。教育図書のほうがずば抜けて良かったのが、文字情報が適切だったなというふうに思っています。恐らくそれは別冊で抜いたことかなと思われますね。QRコードでもプラスアルファを学べるし、別冊でもプラスアルファを学べるという形で、情報量も適切で、非常に見やすい配置になっておりましたし、ただ視覚的に見やすいだけではなくて、いわゆる週1回の、先ほどあったとおり週1回しかない教科の中で、どのように見方・考え方を働かせて活動で進めていったらいいかということが、丁寧に書かれていたなというふうに思っています。なので、

教育図書賛成です。

- （佐藤教育長） 教育図書がよろしいではないかというご意見です。

ほかにいかがでしょうか。

篠崎委員。

- （篠崎委員） 教育図書さんに、厚木市の養豚農家のことについて紹介されていました。うちが牧場ということもあり、とても興味深く拝見したんですけれども、愛川にも養豚、それこそ中原中のお隣にできた丹沢農場さんは養豚ですし、豚も牛も近くにいるというそういったような環境で、生徒さんたちもとてもなじみ深いというか、身近に感じるんじゃないかなと思いました。

生産者がどんなことに気をつけて、どんな気持ちで育てているんだよというのを知る機会になるんじゃないかと思ひまして、ちょっと1点に絞っちゃって申し訳ないんですけど、私はこの点がすごいいいなと思ったので、教育図書さんですね、こちらがいいんじゃないかなというふうに思ひました。

以上です。

- （佐藤教育長） 教育図書がいいのではないかというご意見です。

ほかにいかがでしょうか。

大貫委員。

- （大貫委員） これは全く同じ意見です。教育図書。

- （佐藤教育長） 教育図書がいいということですね。

ほかにありますでしょうか。

それでは、ほかにご意見等がないようでございますので、協議を終結したいと思います、よろしいでしょうか。

それでは、技術家庭・技術分野について、ご意見を総合的に判断させていただきまして、技術家庭・技術分野は教育図書といたしたいと考えますが、いかがでしょうか。

（「はい」との声あり）

- （佐藤教育長） それでは、特にご意見ないようですので、技術家庭・技術分野は教育図書を採択することに決定いたしました。

続きまして、技術家庭・家庭科分野を行います。

事務局から報告をお願いいたします。

- （会場指導室指導主事） 技術家庭の家庭分野についてご報告いたします。

現在使用している発行者は教育図書であります。愛甲採択地区協議会の意見集約の結果におきましては、採択の対象となる教科書発行者3者のうち、大多数が開隆堂に投票され、また教育図書についても投票が見られました。その結果、開隆堂を推薦しておりました。

また、委員の主な意見といたしましては、開隆堂がよい。LGBTQ、ヤングケアラーなど、現代的課題について扱われている。これからの生徒には学んでほしい内容であり、人権について学習内容に広がりを感じる。教育図書がよい。自分が生活する上で学ぶことがある。開隆堂がよい。暮らし方の例がイラスト化されており、自分の生活と照し合せることができ、分かりやすい記載となっているなどの意見が出されております。

技術家庭・家庭分野についての報告は以上でございます。

○（佐藤教育長） それでは、ご質問等がありましたらお願いいたします。

梅澤委員。

○（梅澤委員） それぞれの会社は何票入ったか教えてください。

○（佐藤教育長） 事務局お願いします。

○（会場指導室指導主事） 家庭分野につきましては、開隆堂が9票、教育図書が3票となっております。

以上です。

○（佐藤教育長） ほかに。齊郷委員。

○（齊郷委員） ヤングケアラーについての掲載があるのは開隆堂さんだけですか。

○（佐藤教育長） 事務局お願いいたします。

○（会場指導室指導主事） ヤングケアラーの用語は開隆堂だけとなっております。多様な家族関係の中で取り上げられておりまして、「大人が担うものと想定される家事や家族の世話を日常的に行っている子供」として掲載をされております。

以上です。

○（佐藤教育長） ほかにいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、ほかに質問ありませんので協議に入りたいと思います。ご意見等がありましたらお願いいたします。

大貫委員。

○（大貫委員） 3社の中で、さっきからずっと同じことを言っていますが、何とか地元に引っ張ってきて、それを基に教授をするような材料、どこかないかなといつも見ているんですけど。主な郷土料理で、東京書籍さんはけんちん汁、教育図書さんがシラス丼、それから開

隆堂がけんちん汁なんです。特に愛川町あたりだと、シラス丼といって郷土料理、ぴんとくるのかなと。やはりけんちん汁じゃないかなと私は思う、個人的にはね。

そうすると東京書籍、開隆堂ですけれども、もう一つ、けんちん汁から派生して建長寺の表記まで載せているのは、開隆堂さんですね。そういうようなところで判断すると、開隆堂の教科書がいいのかなというふうに、たったそこだけですけれども、もし扱うとしたらこっちの教科書だなというふうに考えて、開隆堂を選びました。

○（佐藤教育長） 開隆堂がいいのではないかというご意見です。

ほかにいかがでしょうか。

梅澤委員。

○（梅澤委員） 開隆堂、教育図書共に良かったなというふうに評価をしています。その中で、やはり開隆堂良かったのは、いわゆる見方・考え方について先生方に考えさせる視点がより埋め込まれていたなと。いわゆる生活の営み、普通に生きていけば何ということはないのですけれども、そこに生活科学であったり、生活概念に対する見方・考え方を働かせて、さらにその生活を良くしていくという思考が、非常に開隆堂さん埋め込まれていたかなというふうに思っています。あと1点、縫いものの実習でタブレット端末ケース、これは今までになかったなと思って、開隆堂良かったと見ています。

以上です。

○（佐藤教育長） 開隆堂がいいのではないかというご意見でした。

ほかにありますでしょうか。

篠崎委員。

○（篠崎委員） 私も開隆堂さんがいいなと思いました。教科書のタイトルが、自立し共に支え合う生活へというタイトルが、もう家庭科じゃないということがそもそもありますけれども、本当に巻頭に自立と共生についての説明がされており、今の学生さんたちに学んでいただきたいことが、この1冊に詰まっているような気がしました。

消費者被害とか、消費者がちゃんと自分で自立してしっかりしなきゃいけないという、実生活に役立つ内容がとてもよく紹介されていたのではないかなと思って、生徒さんたちに学んでいただきたいと思う内容があったので、開隆堂さんがいいと思いました。

以上です。

○（佐藤教育長） 開隆堂がいいのではないかというご意見です。

齊郷委員。

○（齊郷委員） 私も、けんちん汁といった郷土料理の件はなかなかいいなということと、ヤングケアラーの問題がこれからますますクローズアップされてくるので、そういったことがかなり書いてあるということと、防災もこれから本当に地震、震災、いろんなことが起こってくるということで、こういうことに対してのページをたくさんとっているというところもなかなか良かったということで、開隆堂さんがいいのかなと思います。

○（佐藤教育長） 開隆堂がいいのではないかというご意見でございました。

それでは協議を終結したいと思います、よろしいでしょうか。

それでは、皆様方のご意見を総合的に判断させていただきまして、技術家庭・家庭科分野は開隆堂としたいと考えますが、いかがでしょうか。

（「はい」との声あり）

○（佐藤教育長） それでは、特にご意見はないようでございますので、技術家庭・家庭科分野は開隆堂を採択することに決定いたしました。

続きまして、英語を行います。

事務局から報告をお願いいたします。

○（会場指導室指導主事） それでは、英語についてご報告します。

現在使用している発行者は開隆堂であります。愛甲採択地区協議会の意見集約の結果におきましては、採択の対象となる教科書発行者6者の投票のうち、大多数が東京書籍に投票され、また開隆堂についても投票が見られました。その結果、東京書籍を推薦しておりました。また、委員の主な意見といたしましては、ディベート、ディスカッション等の観点から東京書籍と開隆堂を比べたところ、開隆堂がよい。東京書籍はユニットゼロから4で小学校の振り返りができる。県の調査資料から、体験的な活動や生活経験が扱いやすいと考える。東京書籍は自分のことを発表する活動があり、魅力的であるなどの意見が出されております。

英語についての報告は以上でございます。

○（佐藤教育長） それでは、ご質問等がありましたらお願いいたします。

梅澤委員。

○（梅澤委員） 東京書籍大多数ということでしたが、何票入って、もう1社には何票入ったのか教えてください。

○（佐藤教育長） 事務局お願いします。

○（会場指導室指導主事） 東京書籍が9票、開隆堂が3票となっております。

○（佐藤教育長） 齊郷委員。

- （齊郷委員） デジタル教材については各社どのようなになっていますか。
- （佐藤教育長） 事務局お願いします。
- （会場指導室指導主事） デジタル教材につきましては、発音を繰り返し確認することができ、スピードを変更することができる、個別に学習をすることができるようになっております。
- （佐藤教育長） ほかにいかがでしょうか。
- 篠崎委員。
- （篠崎委員） 小学校で学んだことから、中学で新しく英語が始まるに当たっての連携などは、各社どのような工夫がされておりますでしょうか。
- （佐藤教育長） 事務局お願いします。
- （会場指導室指導主事） 小学校で学んだ単語についてまとめられているなど、各社工夫が見られております。東京書籍では、先ほど申し上げましたとおり、ユニットゼロから4まで小学校の活動を振り返るという形で工夫されております。また、小学校の発行者との関わりについて、小学校のほうで光村図書さんだったのですけれども、小学校との関わりにつきましては、特に意識をしなくてもよいのではないかとこのところ、調査員の先生は報告をされておりました。
- 以上です。
- （篠崎委員） ありがとうございます。振り返りという面では、やはりユニットゼロから4までである東京書籍さんがいいのかなというディスカッションがされたということですね。
- （会場指導室指導主事） はい、充実しているというお話でした。
- （佐藤教育長） ほかにございますか。
- なければ、協議に入りたいと思います。ご意見等がありましたらお願いいたします。
- 梅澤委員。
- （梅澤委員） 小学校の教科書と違う点、実は気になったのですが、そこに対する問題はないのではないかとこの現場の意見があったということで、東京書籍に賛成です。内容的にも非常によくできていて、どの教科書会社さんもQRコードを丁寧に使って発音であるとか、先生だけからの情報でなく、そういうのを身につけられるということは非常に良かったなと思っています。
- また、内容についてもただ読む・書くだけではなくて、表現力ですね。いわゆるコミュニケーションをしっかりとれるような内容になっているというふうに見ておりますので、子

供たちに少し単語を判断させて表現するような、そういう活動も多分に含まれていて、これからの国際社会によりよく生きられる最良の育成になるのかなということで、東京書籍賛成です。

○（佐藤教育長） 東京書籍がいいのではないかというご意見です。

ほかいかがですか。

篠崎委員。

○（篠崎委員） 先ほどの振り返りの面もそうですけれども、東京書籍さん、最後の資料編の内容がすごく充実していて、実生活で使えるといいますか、十分に活用して生徒さんたちに勉強してほしいなという印象がありました。

また、小学校の国語でやっているごんぎづねなんかも題材に取り扱われていて、そうすると、知った内容の物語が英語で勉強できるというのは、とてもイメージがしやすく勉強しやすいのではないかなという印象を受けましたので、東京書籍さんがいいかなと思いました。

以上です。

○（佐藤教育長） 東京書籍がいいのではないかというご意見です。

ほかいかがでしょうか。

私も個人的に、小学校の内容をしっかりと復習しながら中学校につなげていく、本町では中学校の教員が英語専科としてやっていますので、連携は非常にスムーズではありますが、子供たちが自分で勉強する点においても、その辺も連携がうまくつながっている教科書のほうがいいのではないかと。そういう中では、東京書籍さんがしっかりとその辺のところのつながりがいいのではないかなという、私は個人的に思いましたので、東京書籍がいいと思います。

ほかにありますか。

それでは、ほかにご意見等ありませんので協議を終結いたしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

それでは、英語について皆様のご意見を総合的に判断させていただきまして、英語は東京書籍としたいと考えますが、いかがでしょうか。

（「はい」との声あり）

○（佐藤教育長） 特にご意見ないようでございますので、英語は東京書籍を採択することに決定いたしました。

それでは、最後に道徳に入ります。

事務局から報告をお願いします。

- （森指導室指導主事） それでは、特別の教科道徳についてご報告いたします。

現在使用している発行者は東京書籍です。愛甲採択地区協議会の意見集約の結果におきましては、採択の対象となる教科書発行者 7 者の投票のうち、東京書籍、日本文教出版、学研の順で僅差の投票となり、上位 2 者の再投票のうち、多数が東京書籍に投票され、その結果、東京書籍を推薦しておりました。

また、委員の主な意見といたしましては、東京書籍がよい。生徒がイメージしやすい点から、題材の前に学ぶ内容が明記されており、目次にもまとめられている。日本文教出版がよい。思考ツールの活用ができ、論理的に考えるのに有利と感じる。東京書籍がよい。題材も魅力的な内容があるなどの意見が出されております。

道徳についての報告は以上でございます。

- （佐藤教育長） それでは、ご質問等がありましたらお願いいたします。

梅澤委員。

- （梅澤委員） 当初僅差の投票ということで、各教科書会社さんに何票入ったのか、そして決戦投票で何票ずつ入ったのか教えてください。

- （佐藤教育長） 事務局お願いいたします。

- （森指導室指導主事） 東京書籍 6 票、日本文教出版 5 票、学研 1 票。決戦投票の結果は東京書籍 7 票、日本文教出版 5 票。

以上です。

- （佐藤教育長） ほかにいかがでしょうか。

齊郷委員。

- （齊郷委員） 扱われている題材について、特徴は何かありますか。

- （佐藤教育長） 事務局お願いします。

- （森指導室指導主事） 基本的な内容項目に沿って、各社題材が取り扱われております。アニメに関するものや人物など様々あります。その他、いじめに関する内容やネットモラルに関する内容は、各社取り扱っております。

以上です。

- （佐藤教育長） ほかにいかがでしょうか。

それでは、ほかに質問がありませんので、協議に入りたいと思います。ご意見等がありましたらお願いいたします。

梅澤委員。

- （梅澤委員） 多くの教科書会社さんよかったなというふうに見ています。とりわけ、東京書籍がデジタルを上手に使っているなということと、あと学びの方略及び教科書の使い方というところが非常に良かったというふうに、私は評価をしています。と申しますのも、中学校各教科で教員採用試験受かっていくのですが、道徳という枠で受かってくる人いないんです。つまり、教科書で教えながら、道徳の在り方について先生方に学ばせるといった視点から考えると、東京書籍さん、一番学びの方略で記載されていたなというふうに評価をしています。

以上です。

- （佐藤教育長） 東京書籍がいいのではないかというご意見です。

ほかにいかがでしょうか。

私も個人的に東京書籍がいいのではないかというふうに思っています。現在使われている教科書でもあるということと、やはり梅澤委員さんが言われるように流れがいいなど。教員が教えるときに教えやすいという部分も、視点としてあるかなというふうに思っています。

学習の流れが示されているという点も非常に分かりやすいなど。子供たちにとっても分かりやすいのではないかということです。なので、東京書籍がいいというふうに私は思います。

ほかにいかがでしょうか。

篠崎委員。

- （篠崎委員） 私も東京書籍さんがいいと思って見ておりました。各社いじめやネットモラルのことなどももちろん取り上げていただいていると思うのですが、生徒さんにとっても題材が身近で分かりやすいなというふうに感じました。

それぞれの題材の前に学ぶ内容がしっかりと表記されているので、今回の授業ではこんなことを学べるというのが分かりやすくなっているのではないかと思いますので、東京書籍さんがいいのではないかなというふうに感じました。

以上です。

- （佐藤教育長） 東京書籍がいいのではないかというご意見でございます。

ほかにいかがでしょうか。

齊郷委員。

- （齊郷委員） 私も東京書籍がよいと思います。いじめやネットモラルについての取り上げ方が生徒の実態に合った内容になっているということや、各題材の最後に考えよう、見つけ

ようという発問が設定されていて、テーマの内容についてより深く考えようとする、こういったところがすばらしいと思います。

以上です。

○（佐藤教育長） 同じく東京書籍がいいのではないかというご意見です。

大貫委員さん、どうですか。

○（大貫委員） どの教科書も題材、いろいろな方を取り上げていますから、取り上げている人物に注目して考えてみたら、東京書籍さんは杉浦千畝、それから日本文教さんだと例えば二宮尊徳、それからあと学研だと、人物じゃないけども歴史的な事象でエルトゥール号が入っていますよね。どれもその題材で、歴史のことも教えられ、公民のことも、たまたま私は社会科の教員だったからそういうふうな見方で見てしまいますけど、そこから派生していろいろなことを教えられる。

教えるのは先生ですから、先生の力量がどれだけあるかによって進展度合いがはかれちゃうので、ちょっと間違っちゃうと、偏ったほうに指導が行ってしまうことも多少見受けられるので、そういう意味で、一番広い範囲でいろんな分野で指導ができるのは東京書籍かなと。

以上です。

○（佐藤教育長） 東京書籍がいいのではないかというご意見でございます。

それでは、協議を終結したいと思いますが一よろしいでしょうか。

それでは、道徳について皆様のご意見を総合的に判断させていただきまして、東京書籍としたいと考えますが、いかがでしょうか。

（「はい」との声あり）

○（佐藤教育長） それでは、特にご意見ないようでございますので、道徳は東京書籍を採択することに決定いたしました。

以上で、中学校教科用図書の採択について審議を終了するわけでございますが、改めて確認をしたいと思います。

国語は光村図書、書写は東京書籍、社会・地理的分野は帝国書院、地図は帝国書院、社会・歴史的分野は帝国書院、社会・公民的分野は帝国書院、数学は東京書籍、理科は東京書籍、音楽一般は教育芸術社、器楽合奏は教育芸術社、美術は光村図書、保健体育は学研、技術家庭・技術分野は教育図書、技術家庭・家庭科分野は開隆堂、英語は東京書籍、道徳は東京書籍、以上確認をいたしました。

続きまして、小学校用各教科の教科用図書につきまして審議に入りたいと思います。

事務局から説明をお願いいたします。

- （岡田指導室指導主事） それでは説明いたします。

議案第10号、1 ページ、1、学校教育法第34条による小学校用教科用図書採択をご覧ください。

まず、小学校用各教科の教科用図書の採択につきましては、法令及び文部科学省初等中等教育局長の通知により、学校教育法附則第9条の規定による教科用図書を除き、令和5年度に採択したものと同一の教科用図書を採択しなければならないことになっております。

小学校用各教科の教科用図書の採択につきましては、資料の13ページから15ページに記載の、現在使用している教科用図書の調査研究報告書（小学校用）からも特段の意見はありませんでした。また、令和5年度に採択した理由につきましては、資料の9ページに掲載しておりますのでご参照ください。

以上です。

- （佐藤教育長） ただいまの報告ですけれども、ご意見等がありましたらお願いいたします。

小学校の教科書1年目ということで、各学校からの意見等も伺っておりますけれども、引き続き教科書を活用しながら良い授業をつくっていただきたいと思いますというのは、皆さん同じだと思いますけれども、特にご意見等がありますでしょうか。よろしいですか。

それでは、特にご意見ないようでございますので、継続ということでよろしいでしょうか。

（「はい」との声あり）

- （佐藤教育長） それでは、異議なしと認め、小学校用各教科は議案第10号の1 ページの1に記載されていますとおり、令和5年度に採択したものと同一の教科用図書を継続して採択します。

続きまして、学校教育法附則第9条の規定による教科用図書につきまして審議に入ります。

事務局から説明をお願いいたします。

- （岡田指導室指導主事） それではよろしくお願いします。

学校教育法附則第9条に規定する教科用図書の採択につきましては、各教育委員会が毎年度異なる図書を採択することが可能でございますので、各学校から希望があった図書の中から児童生徒の障害の状況や発達の段階等を考慮し、適切であると判断した図書について採択することになっております。

議案第10号、1 ページ、3、学校教育法附則第9条による町立小・中学校教科用図書の採択にございますとおり、文部科学省検定済教科書、それから文部科学省著作教科書、文部科

学省コードつき一般図書、弱視用拡大教科書、いずれにおきましても、各機関等により調査研究が行われ、また使用実績等もありますことから、令和7年度使用学校教育法附則第9条による教科用図書として適当であると判断しております。

説明につきましては以上です。よろしくご協議をお願いします。

○（佐藤教育長） ご意見等がありましたらお願いいたします。

特によろしいでしょうか。

それでは、特にご意見ないようでしたら、採択ということでよろしいでしょうか。

（「はい」との声あり）

○（佐藤教育長） それでは、異議なしと認め、学校教育法附則第9条の規定による教科用図書について、議案第10号の1ページの3にあるとおり採択をいたします。

以上で日程第3、令和7年度使用教科図書の採択についての審議を終わりにしたいと思います。

なお、ただいまの審議結果のとおり決することにいたしますが、4ページに記載されております義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第13条第5項の規定により、当該採択地区内の市町村の教育委員会は採択地区協議会における協議の結果に基づき、種目ごとに同一の教科用図書を採択しなければならないとなっております。

したがいまして、採択のありました教科用図書につきましては、ただいまの採択結果が清川村教育委員会の採択結果と異なった場合には、教育長を愛川町教育委員会の代表とし、清川村教育委員会と協議を行い、その協議の結果決定された教科用図書を愛川町教育委員会が採択する教科用図書とすることによろしいでしょうか。

（「はい」との声あり）

○（佐藤教育長） ご異議ございませんので、清川村教育委員会と採択が異なった場合については、協議の結果をもって愛川町教育委員会の採択結果といたします。

最後に、事務局より確認をお願いいたします。

○（岡田指導室指導主事） それでは、清川村教育委員会との協議につきましては、必要が生じた場合にこの後行うこととなっております。したがいまして、採択の結果につきましては、それ以降に公表することにさせていただきます。

また、採択の理由につきましては、本日の議事録をまとめ、次回の定例会でご報告させていただきます。

なお、採択の結果等につきましては、議案第10号の4ページ、11にありますとおり、採択

期限となる8月31日までに、各市町村教育委員会から神奈川県教育委員会に報告をいたします。また、各学校には通知をもって、住民の方々には町のホームページ等を通じて周知をさせていただくことになりますことを、併せてご承知おきください。

採択事務に関する確認は以上となります。

- （佐藤教育長） それでは、日程第3、令和7年度使用教科図書の採択については以上でございます。

ここで暫時休憩いたします。傍聴の皆様、ありがとうございました。

◎日程第4

- （佐藤委員長） それでは再開いたします。

日程第4、議案第11号 令和6年度町一般会計補正予算（教育関連）についてを議題といたします。

内容については、議題に基づき、課長から説明を申し上げます。

生涯学習課長。

- （小山生涯学習課長） それでは、日程第4、令和6年度町一般会計補正予算（教育関連）についてご説明いたします。

資料につきましては、議案第11号、次のページをおめくりください。

生涯学習課所管の町一般会計補正予算でございます。

歳出の補正予算でありまして、2項目ございます。

まず1つ目が、文化会館ホール音響調整卓更新工事費と、文化会館ホール音響調整卓購入費でございます。これらは摘要欄に記載させていただいておりますように、文化会館ホール内の機器設備であります。ホール内での音声や楽器音を適切なバランスにまとめてスピーカーに出力する機器であります音響調整卓におきまして、スピーカーに接続する出力回路が故障し、ホールの催し物が円滑に運営することが困難となったため、音響調整卓を更新する費用として下段の62万5,000円、また、更新した音響調整卓の取付け工事として上段の126万5,000円、合計で189万円を補正するものでございます。

なお、音響調整卓を更新するまでの間につきましては、ホール・舞台照明操作等委託業者より音響調整卓を借用し、対応したいと考えております。

説明は以上です。

- （佐藤委員長） これより質疑に入ります。

ご質疑、ご意見等がありましたらお願いいたします。

特によろしいでしょうか。

寿命ということもあるようで、ここで新しく購入するということになりました。

それでは、質疑を終結し、表決に入ります。

議案第11号 令和6年度町一般会計補正予算（教育関連）について、本案を原案のとおり決することにご異議ございませんか。

（「はい」との声あり）

○（佐藤教育長） ご異議ないものと認めます。

よって、議案第11号は原案のとおり可決されました。

◎閉会

○（佐藤教育長） 本日の案件につきましては全て終了いたしましたけれども、各委員からご意見、ご感想等がありましたらお願いいたします。

特によろしいでしょうか。

（「はい」と呼ぶ者あり）

○（佐藤教育長） お疲れさまでした。

それでは、事務局から何かありますでしょうか。

（「ないです」との声あり）

○（佐藤教育長） それでは、以上で7月の定例会の議事日程全て終了いたしましたので、閉会としたいと思います。ご異議ございませんか。

（「はい」との声あり）

○（佐藤教育長） ご異議ないものと認めます。

よって、7月の定例会を閉会といたします。

長時間にわたりまして、大変ありがとうございました。

なお、次回の教育委員会定例会日程は、8月27日午前9時から201会議室で開催いたしますので、よろしくお願いいたします。

愛川町教育委員会会議規則第17条第2項の規定により、ここに署名をいたします。

令和6年8月27日

教育委員会教育長

佐藤 照明

教育委員会

教育長職務代理者

大貫 洋

教 育 委 員

梅澤 秋久

教 育 委 員

篠崎 美和

教 育 委 員

斎 郷 浩之

調 整 職 員

前田 幸寛